授業科目名： 地理概説Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目（中学社会） 選択科目（高校地歴）	単位数： ２単位	担当教員名：齊藤　正 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

科　目	教科及び教科の指導法に関する科目
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 人文地理学・自然地理学（高校地歴） 地理学(地誌を含む)（中学社会）

「学位授与の方針」との関係

地理学自体が学際的な領域であり、さまざまな専門領域の知識を具体的な地域の特色に統合する役割がある。また、地域での課題の問題解決に資する手法として、地図を用いる。そして、地図などの手法を自らみにつけることにより、自律的な課題探求能力を養うこととなる。

授業の到達目標及びテーマ

地理学の基礎的・基本的事項を学びながら、我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色の正しい認識と豊かな世界観を習得する。そのために地図の読図、各種統計・資料の収集や読み取り方、解釈の方法などを身に付け、地理的見方・考え方を培う。

授業の概要

（１）　自然環境・社会環境と人間生活の関係について、具体的な地理事象を通して学ぶ。

（２）　地理的理解のために必要な地図（地形図、一般図、主題図）とその活用について学ぶ。

（３）　日本や世界の大都市の内部構造とその変化について学ぶとともに、都市間の関わりや依存関係、まちづくりについて考える。

授業計画

第１回：はじめに　―　「地理学とはどのような学問か」(地理学入門)（テキスト　1地理学の歩み）

第２回：自然環境と人間生活とのかかわりⅠ　―　自然と風土の地理学（テキスト　2.1、2.12）

第３回：自然環境と人間生活とのかかわりⅡ　―　地域関係・地域システム（テキスト 2.3 2.4 ）

第４回：自然環境と人間生活とのかかわりⅢ　―地球環境問題　（テキスト　13）

第５回：地理と地図　―　さまざまな地図表現とその活用（分布図と地域区分）（スクーリング）

第６回：地図を読む　―　地形図を読む。主題図を読む。地域の変化を読む。(スクーリング)

第７回：経済地理学と立地論・中心地論　　（テキスト　３）

第８回：　流通・交通の地理　　（テキスト　４）

第９回：生活行動の地理　　（テキスト　５）

第１０回：世界の都市と日本の都市　―　大都市の形成と地域分化　（テキスト　６）

第１１回：まちづくりの地理　　（テキスト 14）

第１２回：生活文化・民俗の地理（テキスト　10）
第１３回：民族・移民の地理　（テキスト　12）
第１４回：地域の調べ方とフィールドワーク　―　現地に臨んで地域の特色を理解する方法
第１５回：レポートをまとめる　―　レポートの書き方、まとめ方
定期試験

スクーリングでの学修内容
　スクーリングでは、作業的・体験的な学習を重視して、地図の読図や作図の実際、地理写真の読み取り方（第６回)、地域調査方法の基本やレポートのまとめ方などの地理的技能（第１４回、第１５回）を中心に学ぶ。

教科書
（１）上野和彦・椿真智子・中村康子（２０１５）『(地理学基礎シリーズ１　地理学概論[第2版]』朝倉書店
（２）手島純編『社会科・地歴科・公民科指導法』星槎大学出版会

参考文献
（１）高橋 伸夫ほか編（２００８）『改訂新版　ジオグラフィー入門』古今書院
（２）水野一（２０１５）『自然のしくみがわかる地理学』ベレ出版
（３）『詳解現代地図』など、中学校・高等学校で使用する地図帳
（４）その他参考書・資料等については、内容が多様なため、スクーリング・学修指導書にて紹介する。

学生に対する評価
レポート評価（２５％)、スクーリング評価（２５％)、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。